

【令和 7 年度(2025 年度) 第3回 高嶺小学校運営協議会 議題】

開催日時・開催場所	令和 7 年 6 月 12 日(木) 15:30~16:30
学校運営協議会委員 (出席 8 名)	・篠原由紀子委員(北野台) ・ 松久 保雅和校長 ・ 栗原旭委員(絹ヶ丘)本日欠席 ・市川明美委員(学校コーディネータ・北野台) ・梶原幸子委員 (高嶺台団地) ・大津佳奈枝委員(世話人会 代表絹ヶ丘) ・梶本茂徳委員(北野台) ・深堀明日香委員(世話人会 OB・絹ヶ丘) ・田上純委員(北野台) ・森直美委員(学校コーディネータ)
学 校	・副校長 平井克行先生(事務局) ・主幹教諭 富田共一先生(地域連携担当教諭) ・主幹教諭 岩崎由里先生 (生活指導)
議事進行	【議事進行】篠原由紀子会長 【記録】 岩崎由里先生

1. 挨拶

学校運営協議会 篠原由紀子 会長

高嶺小学校 松久保雅和 校長先生

・活発な意見交換を促す挨拶があった。

2. 学校より報告事項

・ふれあい給食(7月10日(木)11:25授業→12:10ふれあい給食)

・実施日:7月10日、13:15 から会議を開催予定。

・当日は 11:25 から授業参観 → 給食試食 → 会議という流れ。

・出席可能な方はぜひ参加を、との呼びかけ。

・給食後、同日に学校運営協議会開催について。提案事項。

3. 地域運営学校の目的を振り返り、今後の活動をかんがえましょう。

＜学校運営協議会の位置づけ＞地方教育行政 組織及び運営に関する 第47条の5 第一項に基づく

(1) 学校運営協議会設置をした学校を地域運営学校という。(学校運営協議会のメンバーは、学校長、保護者、地域 全10名迄で構成)

(2) 八王子市はすべての小中学校(公立)に学校運営協議会を設置 全校地域運営学校とした。

① 2007年～順次学校運営協議会を配置 地域運営学校となる

② 2020年 市内107校全校が 地域運営学校となる。

(3) 学校運営協議会の目的

保護者、地域住民等が学校運営に参画することを通して、地域に開かれ、信頼される学校づくりを進めることにより、より良い教育環境を目的とする。結果、地域の活性化にも繋がる。

(4) (3)の目的、理念は、継続性をもち、繋いでいくことが何より望ましい。

⇒保護者・地域住民が学校運営に参画し、開かれた信頼される学校を目指す。

・地域の知恵や人材を活かし、教育を地域ぐるみで支えることが重要。

・教員だけでは子育てには限界があるため、地域の協力が不可欠。

《共に考えましょう》

(1)・高嶺小学校運営協議会が学校への応援団としてできることは。

・学校は応援団である、学校運営協議会の活動に望むことは、具体的な協力等を含めて。

(2)委員として こんなことを進めてみたい、出来たらいいなあ・・とと思っていること。

・子どもたちの成長 骨太の生きる力のある子どもたちの成長過程の中で、大切なこと。⇒子どもの言葉遣い。

・学校運営協議会委員と教員との関わり合い方。地域力をどう活かしていくか。

・高嶺小学校運営協議会から、地域へ活動内容発信(広報)活動について

(3)その他

⇒①学校運営協議会の現状と課題

・八王子市ではすべての小中学校が地域運営学校化。

・保護者・地域の関心や理解を深める広報活動が必要。

・会議では、今後の方向性や体験活動の充実などについて自由に意見交換。

② 子どもの教育と地域の役割

・昔に比べ、家庭での教育や社会的マナーの伝達が難しくなっている。

・子どもには実体験が重要。些細な日常体験でも教育効果がある。

・学校・地域・家庭が連携し、子どもたちの健全育成に努める必要がある。

③具体的な提案・実践例

・田んぼの整備に関して地域の協力を求めたい(教員からの要望)。

・放課後教室・図書整備・安全対策など、地域の支援が形になってきている。

・新たな課題やニーズに応じた活動の見直しと推進を。

④ 子どもたちの変化と教育の工夫

・コロナ禍で社会経験の機会が減少した影響が子どもたちに見られる。

・掃除や挨拶など基本的なことも体験の一環として重視すべき。

・地域の大人がその場で関わり、子どもに直接伝える姿勢が重要。

※全体として、学校運営協議会の役割強化、地域と学校の連携、子どもたちへの実体験の提供が主なテーマでした。特に、地域の関心を高め、教育現場に参加する意識の共有が今後の課題として浮き彫りになっています。

4. 次回 学校運営協議会日程について

・7月10日(木) 11:25 授業参観 12:10 ふれあい給食

給食後、同日開催について

次回 令和7年度 第4回 学校運営協議会 7月10日(木) 13時15分～